

# 保育所等訪問支援 自己評価

○本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価している。  
○「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が

|          |    | チェック項目   | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など  |
|----------|----|--|-----|--|
| 環境・体制整備  | 1  | 訪問支援に使用する教員教材は適切であるか。  | 1   | 家庭・園・学校で継続して活用できるよう、市販教材だけでなく手作り教材も工夫して提案している。今後も現場の実情に合わせた教材準備と共有を意識していくようにしていきたい。                          |
|          | 2  | 利用希望者に対して、職員の数配置は適切であるか。   | 2   | 現在職員募集を行っており、職員が入職次第利用希望者の受け入れを強化していく予定。   |
| 業務改善     | 3  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                      | 0   | 疑問や不安が生じた際には、代表・副代表へ相談し、必要に応じて定例会で話し合える体制が整っている。今後は振り返り内容を整理・共有しやすい形にし、業務改善につなげていくようにしていきたい。                 |
|          | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                               | 0   | 保護者の意見を会議等で共有し、改善が必要な点について話し合う機会を設けている。今後は改善後の変化についても丁寧に振り返り、支援の質向上につなげていくようにしていきたい。                         |
|          | 5  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 0   | 定期的な面談や日常的な相談を通じて、意見を共有できる体制が整っている。今後は意見がどのように改善につながったかを可視化し、職員間で共有していくようにしていきたい。                            |
|          | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 0   | 第三者による外部評価の仕組みは整っているが、実際の活用については十分とは言えない状況である。今後は実施方法や関わり方を整理し、業務改善につながるよう段階的に改善を図っていく。                      |
|          | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                  | 0   | 研修案内や情報共有の機会があり、学びの機会は確保されている。今後は学んだ内容を実践や職員間共有につなげ、支援の質向上に活かしていくようにしていきたい。                                  |
|          | 8  | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。               | 0   | 子どもと保護者のニーズを丁寧に把握し、アセスメントに基づいた計画作成が行われている。今後も客観性を意識しながら、見立ての質を高めていくようにしていきたい。                                |
| 適切な支援の提供 | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 0   | 複数の職員で情報を共有し、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われている。今後もチームでの共通理解を大切にいくようにしていきたい。  |
|          | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                           | 0   | 訪問先施設や担任と連携し、意向を踏まえた計画作成を行っている。今後も対話を重ねながら、より良い連携を築いていくようにしていきたい。  |
|          | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 0   | 計画内容は職員間で共有され、支援の方向性を揃えた実践が行われている。今後も共有の徹底を続けていくようにしていきたい。   |
|          | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。   | 0   | 行動観察等を含め、多面的に子どもの状況を確認している。今後も記録の整理と振り返りを通じて、アセスメントの質を高めていくようにしていきたい。  |
|          | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。        | 0   | ガイドラインを意識した具体的な支援内容が設定されている。今後も内容の妥当性を確認しながら、支援の質向上を図っていくようにしていきたい。  |
|          | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 0   | 計画に基づいた支援が行われており、支援の一貫性が保たれている。今後も計画と実践の整合性を意識していくようにしていきたい。   |
|          | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 1   | 日報やカレンダー、LINE等を活用して情報共有を行っているが、支援内容によっては事前確認を簡略化して対応している場合もある。今後は支援の内容や重要度に応じて、より適切な確認方法となるよう工夫を重ねていく。       |
|          | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 1   | 振り返りは実施しているが、業務状況により当日中の実施が難しい場合もある。その際は後日共有やLINEでの報告を行っている。今後は振り返りの方法やタイミングを整理し、継続しやすい形となるよう改善を図っていく。       |
|          | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。  | 0   | 訪問先施設の理念や支援の考え方を尊重しながら支援を行っている。今後も施設との信頼関係を大切に、連携を深めていくようにしていきたい。  |
|          | 18 | 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 0   | 支援ごとに記録を行い、振り返りや検証に活用している。今後も記録の質を意識し、支援の改善につなげていくようにしていきたい。   |
|          | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                  | 0   | 保護者や訪問先の意向を確認しながらモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っている。今後も状況に応じた柔軟な見直しを心がけていくようにしていきたい。                               |
|          | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 0   | 子どもの状況を把握している職員が参画し、適切な情報共有が行われている。今後も役割を意識した参画を継続していくようにしていきたい。   |
|          | 21 | 地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 0   | 保健・福祉・保育・教育等の関係機関と連携しながら支援を行う体制が整っている。今後も連携の質を高めていくようにしていきたい。  |
|          | 22 | 就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                  | 0   | 移行時には関係機関との情報共有を行い、相互理解を図っている。今後も丁寧な引き継ぎを大切にいくようにしていきたい。   |
|          | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。                                  | 1   | 研修制度や案内は整っており、必要に応じて活用しているが、業務状況により参加が難しい場合もある。今後は参加しやすい形を検討し、支援の質向上につながるよう改善を図っていく。(コーチング制度、冬季講座、夏季講座、味噌作り) |
|          | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  | 2   | 業務状況に配慮しながら協議会等へ参加しているが、継続的な関与が難しい場合もある。今後は参加方法や関わり方を工夫し、地域との連携が深まるよう改善を図っていく。                               |

|           |    |  |   |  |
|-----------|----|--|---|--|
| 機関や保護者との  | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。  | 0 | 日常的に保護者と情報を共有し、発達状況や課題について共通理解を図っている。今後も丁寧な情報共有を継続していくようにしていきたい。                     |
|           | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 0 | 家族支援に向けた取組を計画的に進めているが、参加者が集まりにくいなどの課題がある。今後は内容や実施方法を見直し、参加しやすい形となるよう改善を図っていく。        |
| 保護者等への説明  | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 0 | 運営規程や利用者負担等について、丁寧な説明を行っている。今後も分かりやすい説明を心がけていくようにしていきたい。                             |
|           | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。   | 0 | 事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行っている。今後も丁寧な説明を継続していくようにしていきたい。                               |
|           | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。           | 0 | こどもや保護者の意思を尊重し、意向を確認する機会を設けている。今後も意思尊重を大切にしていこうようにしていきたい。                            |
|           | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                     | 0 | 計画を示しながら支援内容を説明し、同意を得ている。今後も丁寧な説明と同意形成を行っていくようにしていきたい。                               |
|           | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 1 | 相談には概ね対応できているが、状況によっては十分な時間を確保できない場合もある。今後は対応方法や相談体制を整理し、より安心して相談できる環境となるよう改善を図っていく。 |
|           | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0 | ワークショップ等を通じて交流の機会を設けている。今後も継続的な実施を検討していくようにしていきたい。                                   |
|           | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 0 | 相談や申入れに迅速に対応できる体制が整っている。今後も適切な対応を心がけていくようにしていきたい。                                    |
|           | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                        | 0 | 通信やHP、SNS等を活用して情報発信を行っている。今後も必要な情報を分かりやすく発信していくようにしていきたい。                            |
|           | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 0 | 個人情報の取扱いについて十分留意している。今後も適切な管理を徹底していくようにしていきたい。                                       |
|           | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 0 | 障害特性等に配慮した意思疎通を心がけている。今後も個性を大切にしたい対応を行っていくようにしていきたい。                                 |
| 訪問先施設への説明 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。   | 0 | 訪問先からの相談に応じ、必要な助言や支援を行っている。今後も信頼関係を大切にしていきたい。  |
|           | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。  | 0 | 支援後にカンファレンスを行い、情報共有を行っている。今後も共有の機会を大切にしていきたい。  |
|           | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。  | 0 | 支援内容の共有は行っているが、状況によりタイミングに配慮が必要な場合もある。今後は情報共有の方法を整理し、より円滑でタイムリーな共有が図れるよう改善を図っていく。    |
|           | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 0 | 個人情報の取扱いに十分留意している。今後も適切な管理を徹底していくようにしていきたい。  |
| 非常時等の対応   | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。   | 0 | 訪問先と信頼関係を築きながら専門的な助言を行っている。今後も関係構築を大切にしていきたい。  |
|           | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 0 | 各種マニュアルを整備し、周知や訓練を行っている。今後も定期的な確認と見直しを行っていくようにしていきたい。                                |
|           | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 0 | 安全計画に基づき、安全管理に配慮した支援を行っている。今後も安全管理を徹底していくようにしていきたい。                                  |
|           | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。   | 0 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止について検討している。今後も改善を積み重ねていくようにしていきたい。                               |
|           | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 0 | 虐待防止に関する研修機会を確保し、適切な対応を行っている。今後も職員の意識向上に努めていくようにしていきたい。                              |
|           | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 0 | 身体拘束に関する組織的な決定と事前説明を行い、計画に反映している。今後も適切な運用を継続していくようにしていきたい。                           |